

◆2025年11月19日発行ラインナップ◆

- ・IFA国際肥料会議inバンコク
- ・札幌の冬

## IFA国際肥料会議inバンコク

今年10月7日～9日に東南アジアのタイ、首都バンコクにて行われたIFA【国際肥料協会】が主催する国際会議に当社原料部メンバーで参加。

まず開催地となったタイ(正式名称：タイ王国)について。国土は約51万4000平方キロメートル(日本の約1.4倍)、人口は約6,593万人(うち、タイ族約85%、中華系10%、その他にラオス系、インド系)となる。そのため公用語はタイ語だが、中心部では英語も通じる。首都であるバンコクの名称は実は、英語名であり、タイ語名ではクルーンテープ・マハナコーン(正式名称が別であるが、長すぎる為割愛。ご興味がある方は調べてみては?)また、現地、タイの人々は正式名称の最初である、クルーンテープと呼んでおり、意味としては、天使の都という意味だそう。



そんなバンコクの街で行われたIFA (international fertilizer association) 国際肥料会議について、年2回世界各国で行われ、世界中の肥料に関する原料及び肥料メーカー、バイヤー、トレーダー、情報誌機関が一堂に集結する。

今回のバンコク会議では中国の国慶節中ということもあり、中国系サプライヤーの参加が少なく、比較的落ち着いた状況での会議となった。メインとなるイベントは主催者であるIFA、そして世界を代表する大手肥料メーカー達による世界の肥料市況や今後の展望についての説明、考察のプレゼンなど。その様なメインとなるイベントの傍ら、各国の肥料・原料メーカー達とバイヤー、トレーダー達が各自で情報交換を行うこともこの国際会議の目的でもある。



当社メンバーも窒素・リン酸・加里といった原料メーカーの方達と会議を行い情報交換に努めていた。原料市況について、窒素に関しては、東南アジアの在庫過多により、需要減且つ、北半球のオフシーズンにより年内の価格はやや弱含み傾向。リン酸に関しては、ブラジル・インドといった大型消費国の需要が一段落しているが、供給については維持されている為、年内の市況に関しては弱含み傾向。

加里に関しては、ブラジル・インド・中国といった大型消費国の中でも需要が盛り上がりつつあるが、カナダ・ペラルーシ等の供給過多により、価格は拮抗している。総じて、中国情報の不透明さが続いている為、参加者は年明け以降の中国輸出制限状況に注目が集中していたように思う。

当社原料部として、こう言った世界市場の動向も精緻に把握し、競争力ある原料の安定調達する使命を果たしていきたい。

## ～札幌の冬～

季節の巡りは早いもので今年も残すところあとひと月半ほどとなりました。筆者の暮らす札幌では、10月23日に初雪が観測され、11月8日には早くも12cmの積雪を記録しました。11月前半に10cm以上の積雪があったのは実に9年ぶりとのことで、例年より早い冬の訪れを感じました。

ところで、初雪の前に冬の訪れを告げる風物詩があります。

それは「雪虫（ゆきむし）」の大発生です。雪虫とは白い綿状のロウ物質をまとったアラムシの一種で、大量に飛ぶ姿がまるで雪が降っているように見えることからその名がついています。晴れた日にふわりと雪が舞うように飛ぶ姿はとても幻想的な光景を生み出しますが、実際には衣服や車のボディに付着したり、口や鼻に飛び込んできたりと生活する上では少々厄介な存在でもあります。

札幌では昔から「雪虫が大量に飛び始めてから1～2週間後に初雪が降る」と言われています。（道東では1ヶ月後とも言われています）今年の大発生は10月16日でしたので、初雪まではちょうど1週間でした。今年は言い伝え通りだったようです。自然界のリズムを敏感に察知する生き物の感覚には大変驚かされます。

雪虫は秋に産卵のためトドマツからヤチダモへ移動し、翌年初夏に孵化すると再びトドマツへ戻ります。実は初夏にも多くの雪虫が飛んでいるのですが、その時期は白い綿をまとっていないため、私たちの目にはほとんど留まりません。冬の訪れを告げる季節にだけその姿が強く印象に残るのです。

札幌は都市と自然が非常に近い距離にある街です。そのため、街中にも雪虫が現れやすいと考えられますし、雪虫の他に様々な野生動物も現れます。今年は円山動物園や北海道神宮にヒグマが出没していますし、市街地を飛ぶカモメの姿も珍しくありません。大通公園では愛らしい姿で有名なシマエナガも見られることもあるそうです。（残念ながら筆者はまだ出会えていませんが…）

生活していると慣れてしまうのですが、このような環境を意識すると私たちは都市の中にいながらも大自然の一部として生かされているのだと感じます。当社の業務は農業という自然に深く関わる分野に根ざしています。だからこそ、季節の移ろいや生き物たちの動きといった自然のサインを意識し、そこからの学びやヒントを見つけていけたらと思います。（札幌支店）



昨年に続き今年の夏季休暇もタイへ行き、昨年とは違うエリアを観光し水上バスに乗ったりナイトマーケットへ行ったりとスケジュールみっちりで過ごしました。我が家にタイパンツが増えています。

編集事務局：佐藤、山内

電話：03-5275-5511／E-mail：macjournal@mcagri.co.jp URL <http://www.mcagri.jp>